

明日の北九州の環境産業ビジョンを描く
～ 北九州循環経済研究会 最終報告会 ～

廃熱利用と竹の再利用

北九州市環境ビジネス推進会 竹内真介

1. 北九州市の竹林の特徴

- ① 北九州市は全国でも有数の広大な竹林を有している。
- ② 竹林を整備する人たちの高齢化と竹材の消費の伸び悩みで放置竹林が増加している。
- ③ 放置竹林の増加によって自然林が減少している。
- ④ 根を浅く張る竹の影響で土砂崩れなどの危険区域が増加している。



(NHK知っトク東北より引用)

2. 放置竹林対策

① 北九州市が実施している放置竹林解消事業で、年間約200トンの竹が切り出され有効利用されている。

② 竹の利用

- ・ 灯油を使った乾燥機で竹を乾燥させ、乾燥後の竹を原料として雑草アタックという簡易舗装材を生産している企業がある。
- ・ 廃プラスチックと廃木材を原料にして混合木製品を生産している企業で、廃木材の代わりに竹の利用を検討している企業がある。
- ・ ホテルの客室で提供しているプラスチック製の歯ブラシや櫛をプラスチックと竹を混合した材料の利用を検討している企業がある。



③ 廃熱の供給

- ・ 産業廃棄物の焼却処理を北九州エコタウンで行っている企業で、焼却炉から出る廃熱の利用を検討している企業がある。



3. 廃熱利用と竹の再利用

